



## Art Bridge 02 高島

高島は、石器・縄文時代から、弥生・平安時代にいたる長い年月、人々が居住していました。そのため、石器や土器などが出土する古墳や遺跡が残っています。豊かな景観と漁業に支えられている高島。奇岩と歴史の舞台で自然石を背景に作品空間をつくり、作品発表を行います。(14日に島の納涼祭に合わせて公開)



### 滞在制作 / 作品展示アーティスト

杉原 信幸 「天目岩」:高島島内(詳細はHPにて)

高島に伝わる海上にあった古代の天文台、天目岩の形を、2017年の滞在制作で高島の竹と海苔の種付け用の牡蠣殻で作り、島民に大切にされていた。しかし、風雨で老朽化したため、その作品のお焚き上げを行い、新たに天目岩を、自然石と砕いた牡蠣殻、黒糖、餅米、石灰、砂による台湾で学んだ古代セメント、三合土によって蘇らせる。

1980年長野県生まれ。東京藝術大学油画専攻修了。詩人の吉増剛造ゼミ参加。「大町冬期芸術大学」空間美術コース講師。国内外の作品展に参加し、滞在型の制作活動を展開。2010年より「信濃の国 原始感覚美術祭」を主催。原始感覚美術祭アートディレクター。2019年 成能湿地国際環境芸術祭/麻豆糖業大地芸術祭/台湾。



### 平成31(2019)年度岡山県アーティスト滞在・交流事業

岡山県では、国内外のアーティストを県内各地に招き、短期滞在制作や地域との交流を行う「アーティスト滞在・交流事業」を通じて、岡山県の文化の魅力と「元気の岡山」を国内外へアピールしています。

### TOPIC! ドキュメント展示 / イベント

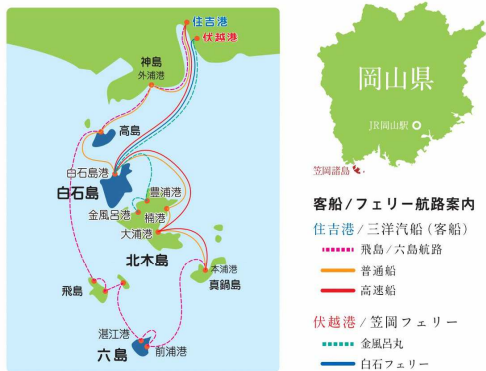
これまでの「笠岡諸島アートブリッジ」で制作された作品の展示、ドキュメント映像、ライブパフォーマンス、島の特産を活かしたカフェスペース、その記憶を辿るフットワークを行います。

2019年9月21日(土)～9月23日(月) 場所:岡山県笠岡市住吉港

- ◆岩本象一(打楽器演奏家)ライブ演奏 ◆吉川寿人ドキュメント映像 ◆作品展示
- ◆アーティストトーク&島の人たちトーク ◆杉本克敬によるカフェスペース

## 会場 ACCESS ~ 笠岡諸島を巡る ~

電車でお越しの方: 在来線でJR笠岡駅(JR岡山駅より約40分)→住吉港、伏越港から船で島にアクセスできます。



三洋汽船定期船(住吉港) 船賃:笠岡~高島 520円 笠岡~白石島 660円(高速船1,150円)

住吉港→諸島	高速船	普通船	高速船	普通船	高速船	普通船	高速船	普通船
住吉港	7:25	8:10	9:10	11:20	12:30	14:20	16:30	17:50
高島	↓	8:36	↓	11:45	↓	14:45	↓	18:15
白石島	7:47	8:45	9:32	11:55	12:52	14:55	16:52	18:25

諸島→住吉港	普通船	高速船	普通船	高速船	普通船	普通船	高速船
白石島	7:05	8:37	9:56	12:02	13:52	15:55	17:05
高島	7:13	↓	10:04	↓	↓	↓	17:13
住吉港	7:37	8:59	10:28	12:24	14:14	16:20	17:37

笠岡フェリー定期船(伏越港) 船賃:白石フェリー 530円 金風呂丸 540円

伏越港発	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー
伏越港	7:15	9:00	9:25	11:00	13:00	14:40	15:25	17:00
白石島着	8:39	9:45	10:05	11:45	13:45	15:25	16:45	17:45

白石島発	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸	白石フェリー	金風呂丸
白石島	7:55	8:39	10:00	11:40	13:35	14:40	16:00	16:46
伏越港着	8:40	9:19	10:45	12:20	14:20	15:20	16:45	17:26

NPO法人ハートアートリンク **HA** ART LINK  
 【お問い合わせ】TEL:090-5698-4933(田野)  
 700-0982  
 岡山市北区中島町2-5-22-102  
 Web http://heartartlink.org



主催:岡山県、NPO法人ハートアートリンク 後援:笠岡市、笠岡市教育委員会、笠岡市観光連盟 協力:白石鍾会、白石島公民館、高島公民館

# 風

光明姫笠岡諸島では、少子高齢化などの課題などがある一方で、島ごとに脈々と続く伝統があります。人間は本来、目に見える世界だけに生きているのではなく、先祖や自然に守られて生きている、島はそれを身体で感じる事ができる空間です。

宮本常一が「忘れられた日本人」のなかで取り上げていた、島の人の暮らし、循環型社会を継続してきた島では、創造性を生むための場所としての機能も、今後大いに期待されると思っています。

ここにアーティストが滞在し、島の人々の関わりの中で制作しています。島の記憶と日常の時間軸が、新たな出会いで未来をつくっていきます。

島は、近未来社会。

展覧会期:2019年8月10日(土) - 8月18日(日)

午前9時30分 - 午後5時(観覧無料)

場所:岡山県笠岡市白石島・高島 ※島巡りのためのmapは、白石島港前の松浦邸にあります。

ドキュメント展示 / イベント:2019年9月21日(土) - 9月23日(月)

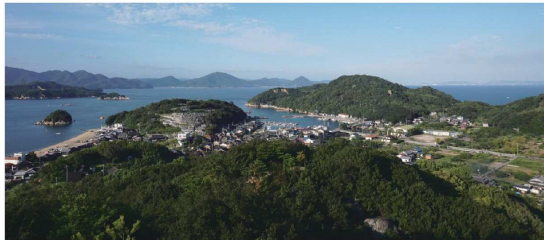
場所:岡山県笠岡市住吉港



NPO法人ハートアートリンクHP  
 イベントの情報を掲載しています。

# 笠岡諸島アートブリッジ2019 Art Bridge on Kasago Islands 2019





白い花園が点在する白石島は、江戸時代には沿岸航路の中継地として栄え、漁業や採石、繭栽培も盛んで各家には機械織り機がありました。元禄4年(1691)、長崎オランダ商館のドイツ人医師ケンペルは、江戸へ行く途中に白石島を訪れ「白石港は比類無きほどの投錨地(船の停泊地)。この小さき島には北に向かって開いている細長い港があり、その近くに開墾された心地よい谷がこの港特有の地形をなしている。」と、白石港が潮まち、風まちの良港であったと記しています。江戸時代には、備後福山藩水野家の領地であり、開龍寺はその祈願寺としても栄えました。最奥には、「大師堂」があり多くの巡拝者で賑わっていました。鑑鏡に続く高台には、タイのワットパナム寺院との交流により建立された「仏舍利塔」があります。港の正面から開龍寺に続く「大師道」に沿うように作品を展示していきます。

滞在制作 / 作品展示アーティスト

柳楽 晃太郎 「聚楽宴」: 松浦邸

島民と島分析を共有し島の将来につながる事の発想を得るために、糸と體を用いて人々が集う場を作る。そこから派生する「事」に継続的に関わり、作品を通して島民が交流できる未来につながる集いの場を開いていく。

1983年岡山県生まれ2010年東京芸術大学大学院美術研究科工芸専攻染織を修了、2015年度文化庁新進芸術家海外研修制度で研修員としてドイツに在任。「羅織」行為に注目し作品やパフォーマンスで社会のあり方を探求している。2019年T氏賞奨励賞受賞。

藤田 龍平 「誰が描いたの?!」: 松浦邸の裏庭

島にあるものを素材に描画具を作成し、屋外でのドローイングを行う。「みなさまがビックリするような絵を飾ります。是非お越しください。」

1979年京都府生まれ。2005年東京芸術大学を卒業。様々な場所で絵画作品を展開している。地面、空、天井などへのドローイングを通じて、描くこと、作ること、の実験を行なっている。

杉本 克敬 「隔てるもの であっても 遮るものではない」: 松浦邸

島の菩提寺、開龍寺境内の仏石と開祖空海が安置した結界をモチーフに菓子を食す空間を作る。

1978年岡山県生まれ。食べるために口を開くことから生まれる対話に合わせて、日常の暮らしや、記憶、感情をつなぐ作品を展開する。岡山市内のカフェ「EXCAFE」オーナーバ리스タ。食をインクルーシブにつなぐ活動「ネイバー・キッチン」主宰。

清水 直人 「白石ドーム」: 白石島小学校校庭 / 河田邸

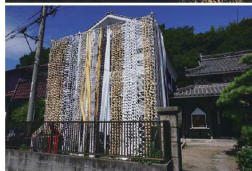
しなやかに伸びる竹は、耐震性に優れ、柔軟に曲線を描く。毎年、白石島の竹を組み上げて少しづつ竹のドームを拡張させていく。

1980年岡山県生まれ。対象的な認識によって捉えるのではなく、関与することにより、またはこの共通感覚をはたかせることにより、作品を通して社会と人間のアクチュアリティ、時代性を問いたいと考えている。

松岡 美江 「ひのさすところ」: 路地(大師道)に面した家屋・中条原田邸

まだ振動の残る路地。朝夕時間の境目になる要所に、ふとさしこむ光。昨年の編み目に参加型公開制作を行う。

1985年香川県生まれ。Central Saint Martinsで学ぶ。壁のない日常の延長線上に芸術はあると考え、場所が持つ記憶と向き合い、人と食生活との関わり合いや日常の素材を通し、縫う・編む・織るの技法と、人が持つ技を掛け合わせながら地域の思いを編む。



泊まりの屋号が残る小見山庄屋の嘉惣次郎として、島を訪れる賓客の宿舎としても利用されました。「伊能忠敬測量日記」によると、文化3年正月23日(1806年3月12日)北木島の測量を途中に、1番隊と3番隊が午後4時すぎに白石島に到着。2番隊は大飛鳥・小飛鳥の測量をすませ、夕方白石島に到着したと。庄屋の嘉惣次郎に宿をとり、たいそう立派な家だったと記しています。邸横にある巨石には不動明王像が刻まれており、「波切不動明王」と呼ばれています。



8月会期中のイベント

10	アーティストトーク (14時~15時)
11	ひのさすところワークショップ (松岡美江)
12	ライブパフォーマンス「李 (ダンス)、岩本象一 (音楽)、吉川寿人 (映像)」
13	CAFE HATOBA
14	CAFE HATOBA 高島巡り (9時~11時)
15	
16	
17	CAFE HATOBA 白石島めぐり (10時~12時) クロージングトーク (14時~15時)
18	

ひのさすところワークショップ (松岡美江) \* 8月初旬より滞在制作中随時受付  
個々に大切なものを持参していただき、細目に結びつけていきます。(屋外展示できるものであれば、衣類・雑貨等可)

CAFE HATOBA オープン (杉本克敬) 10:00 ~ 15:00 : 松浦邸  
島の風を感じて創作したオリジナルの菓子とお茶をお渡しします(数量限定)。松浦邸の縁側で食べながら島の話を楽しみましょう。

国指定の重要無形民俗文化財「白石踊」

笠岡市白石島に古くから伝わる盆踊りで、新暦の8月13日~16日の夜に行われる国指定重要無形民俗文化財であり、岡山県下三大踊りの一つ。一つの口説き(音頭)に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、男踊・女踊・娘踊(月見踊)・笠踊・奴踊・扇踊など13種類の踊りが伝わっています。音頭には「那須与一」などがあり、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言伝えられています。



「Untitled」: ライブパフォーマンス

白石島各所 8月12日 (撮影公開) ※時間と場所はHPにて公開

「ゴドーを待つ」(サミュエル・ベケットの演劇)のように、待つ必要があるかもしれない。見つめることができないかもしれない。探しているのは私たちだけ。存在と体の関係について話したい。

李 潔欣 Lee Chie-Hsin (ダンサー)  
吉川 寿人 (映像作家)  
岩本 象一 (ガムラン奏者・打楽器演奏家)



李 潔欣 Lee Chie-Hsin (ダンサー)

1981年台湾の新竹市で生まれ。2016年台湾の体育大学でダンスの学位を取得。フォー・ジュンカトリック大学 哲学の修士号を取得。ダンスシアター 無垢舞踊劇場、Wind Dance Theatre 風之舞形舞踊劇場、Rose Historic Site, Tsai Jui-Yueh Dance institution 玫瑰古鳴蔡瑞月舞踊研究社。

吉川 寿人 (映像作家)

1982年兵庫県生まれ。笠岡諸島北木島で開催された「北木ノースデザインプロジェクト」の第1回目招聘アーティスト。滞在制作を機に移住。約50年前に閉じられた映画館を島民と再開し「光劇場」と命名。古民家で映像作品を上映している。

岩本 象一 (ガムラン奏者・打楽器演奏家)

1981年生まれ 神戸出身。2005~08年 インドネシア国立芸術大学にてガムランや舞踊を学ぶ。ジャワガムラン教室を開く(一方、国内外問わず様々なジャンルのアーティストと公演活動やワークショップを行っている。最新アルバム「三八四、四〇〇軒の傘」がある。

常設展示アーティスト

Radek Predygyier ラデック プレディギェル: 農協・消防機庫

「パラダイスの島」: 白石公民館前消防機庫壁画 (2017年) 島の人たちと一緒に島をモチーフに描いた絵は、次第に風景に馴染み始めている。

1973年ポーランド生まれ。1998年ワルシャワ国立芸術大学卒業、2004年日本に移住。ポーランドの小学校、パリ、美咲町、牛窓ホテルリマニエでフレスコ画を制作。水彩、油彩、デッサン、テンペラなど。専門はフレスコ画。

松村 兪奈 「時の足跡・未来の手」: 松浦邸ほか島の各所

白石島の歴史とともに歩んでこられた人、今そしてこれから歩いていく人。島に関わる人々の足跡と、未来を担う手を島の40か所の御影石に刻んだ。松浦邸に置く「石の散策マップ」を手にとって島を歩きながら、この島の未来像を想像していただきたい。

1974年京都市生まれ。大阪芸術大学大学院修了。石彫・彫影を中心に彫刻家として活動。2015年、京都市から岡山市に移住。2016年、矢掛町で「ザ・のみぎりズム2016」を企画・開催。

